C　薬品保管管理を適正に行う機能を有すること。
D　薬品の払出を安全に行う機能を有すること。
E　患者・家族への服薬指導業務および効果・副作用情報を効率的に管理する機能を有すること。
F　調剤に必要な機器類が自動化されており、かつこれらの機器はコンピュータシステムで統合管理されていること。
G　麻薬・毒薬・向精神薬等の払出履歴管理ができること。
H　A～Gに示したコンピュータシステム、調剤機器群、情報管理機器等は、当院の医療情報・診療支援システムとデータや情報の高速な受渡しができること。

2　資料及びコメントの提供方法　上記1⑵の物品に関する一般的な参考資料及び同⑸の要求要件等に関するコメント並びに提供可能なライブラリーに関する資料等の提供を招請する。
⑴　資料等の提供期限　平成29年5月19日17時00分（郵送の場合は必着のこと。）
⑵　提供先　〒036―8563 青森県弘前市本町53 弘前大学医学部附属病院経理調達課　調達担当　葛西　一宏　電話0172―39―5197
3　説明書の交付　本公表に基づき応募する供給者に対して導入説明書を交付する。
⑴　交付期間　平成29年4月3日から平成29年5月19日まで。
⑵　交付場所　上記2⑵に同じ。
4　説明会の開催　本公表に基づく導入説明会を開催する。
⑴　開催日時　平成29年4月18日14時00分
⑵　開催場所　弘前大学医学部附属病院小会議室
5　その他　この導入計画の詳細は導入説明書による。なお、本公表内容は予定であり、変更することがあり得る。
6　Summary
⑴　Classification of the products to be procured : 4, 31
⑵　Nature and quantity of the products to be purchased : Pharmaceutical services support system 1 Set
⑶　Type of the procurement : Purchase
⑷　Basic requirements of the procurement :
A　Counting and preparation of oral／external drugs and injections can be done safely and efficiently.
B　Drug information management and patient medication history can be managed efficiently.
C　This system has a function to properly manage drug storage management.
D　This system has a function to safely dispose of drugs.
E　This system has a function to efficiently manage drug instruction work, effects and side effects to patients.
F　Essential equipments for dispensing are automated, and these devices are integrated and managed by a computer system.
G　Payout of narcotics, poisons, psychotropics, and history management of them can be done.
H　The computer systems, dispensing devices, information management devices shown in A-G can deliver data and information at high speed with the medical information／medical care support system of our hospital.
⑸　Time limit for the submission of the requested material : 17 : 00　19 May, 2017
⑹　Contact point for the notice : Kazuhiro Kasai, Accounting Procurement Division, Hirosaki University Hospital, 53 Hon-cho Hirosaki-shi Aomori Japan 036―8563 Japan, TEL 0172―39―5197

資料提供招請に関する公表

次のとおり物品の導入を予定していますので、当該導入に関して資料等の提供を招請します。
平成29年4月3日
国立大学法人弘前大学
契約担当役　医学部附属病院長　福田　眞作
◎調達機関番号　415　◎所在地番号　02
○第2号
1　調達内容
⑴　品目分類番号　4、31
⑵　導入計画物品及び数量　タンパク質解析用質量分析システム　一式
⑶　調達方法　購入等
⑷　導入予定時期　平成29年度1月以降
⑸　調達に必要とされる基本的な要求要件
A　高分解能質量分析装置　一式
a　高分解能質量分析装置本体　①四重極質量分析部（Q）と垂直型の飛行時間型質量分析部（TOF）が直結したQTOF型構造であること。　②測定できる質量範囲は40kDa（TOF）、プレカーサーイオンセレクションが5－2,250m／zであること。質量精度（RMS）が内部標準法で0.5ppm以下、外部標準法で2ppm以下であること。　③網羅的なタンパク質同定のために、1秒間で最大100プレカーサーイオンの取得が可能なこと。その際、分解能は30,000以上を維持できる性能（m／z　813.39を指標）であること。加えて、網羅的なタンパク質判定量解析のために、1秒間で最大200プレカーサーイオンの取得ができること。　④MS／MSのイオン情報から定性・定量の両分析が可能であること。
b　ナノLCシステム　①スプリットレス方式のグラジエントポンプを使用し、100―1,000nL／minの流速範囲で安定した送液が可能なこと。　②最大10,000psiまでの耐圧性があること。　③サンプル分離カラムの取り扱いが容易で、複数のカラムを同時に用いたハイスループット解析が可能なこと。
c　窒素供給装置　①質量分析装置の稼働に必要な窒素発生装置が付帯していること。
B　高感度質量分析装置　一式
a　高感度質量分析装置　①高感度定量及び定性分析が同時に行えるようにイオン透過効率の優れたタンデム四重極の構造を有したリニアイオントラップ方式を採用していること。　②検出できる質量範囲が5－2,000m／zまで可能であること。　③複雑なサンプルを測定するため、MRMモードよりも選択性が高い定量分析MS3が可能であること。　④高分解能型質量分析装置と同じフラグメンテーション機構により、タンパク質定性からタンパク質定量へのシームレスな移行性があること。
b　高速液体クロマトグラフィシステム　①送液ユニットの流量設定範囲は、0.0001ml／min　&　8211　;　3.0000ml／min以上であること。　②送液ユニットの最大耐圧は130Mpa以上であること。　③グラジェント方式　高圧2液混合方式以上の性能を有すること。　④カラムオーブンの温度制御はブロックヒーティング方式であること。
c　窒素供給装置　①質量分析装置の稼働に必要な窒素発生装置が付帯していること。

2　資料及びコメントの提供方法　上記1⑵の物品に関する一般的な参考資料及び同⑸の要求要件等に関するコメント並びに提供可能なライブラリーに関する資料等の提供を招請する。
⑴　資料等の提供期限　平成29年5月22日17時00分（郵送の場合は必着のこと。）
⑵　提供先　〒036―8563 青森県弘前市本町53 弘前大学医学部附属病院経理調達課　調達担当　葛西　一宏　電話0172―39―5197
3　説明書の交付　本公表に基づき応募する供給者に対して導入説明書を交付する。
⑴　交付期間　平成29年4月3日から平成29年5月22日まで。
⑵　交付場所　上記2⑵に同じ。
4　説明会の開催　本公表に基づく導入説明会を開催する。
⑴　開催日時　平成29年4月10日15時00分
⑵　開催場所　弘前大学医学部附属病院大会議室
5　その他　この導入計画の詳細は導入説明書による。なお、本公表内容は予定であり、変更することがあり得る。
6　Summary
⑴　Classification of the products to be procured : 4, 31
⑵　Nature and quantity of the products to be purchased : Mass Spectrometry for protein analysis 1 Set
⑶　Type of the procurement : Purchase